

入学志願者案内 博士(一般入試および社会人特別選抜)

1. 入学志願者は、大学院博士後期課程出願資格を有するものであれば、その専攻分野及び資格取得年次を問わない。医歯学・獣医学・薬学系の6年制学部卒業、卒業見込みの者、その他資格審査が必要となる者(本研究科募集要項「2. 出願資格」(1) 一般入試⑥~⑧の該当者)は、博士後期課程学生募集要項に従い、個別の入学資格審査を行うので、詳細は事前に問い合わせること。個別の入学資格審査のための書類提出の期限は研究科ウェブサイトを確認すること。博士の学位を持つ者であっても修士の学位または専門職学位を持たない者は個別の入学資格審査が必要である。
2. 志願者は、必要事項を記入した「調査票(博士)」(専攻ウェブサイトからダウンロードすること)のPDFファイルを出願時にアップロードして提出すること。本専攻では、今年度は筆記による英語試験を実施しない。英語試験の成績証明書(スコアシート)の電子コピー(PDFファイルを推奨)を、出願時または2021年7月25日(日)(入試日程Aの場合)迄にオンライン出願サイトにアップロードして提出すること。スコアシートの原本は本研究科教務チームに郵送で提出すること(募集要項参照)。出願時に出身大学院の成績証明書の提出は不要である。志願者は、必ず、志望研究分野をひとつのみ選んで申告すること。スコアシートを提出できない場合でも、本入試の受験資格を必ずしも失うわけではないので、専攻入試委員長に電子メール等で連絡すること(詳しくは専攻ウェブサイトに記載している)。
3. 出願前に研究指導を志望する教員に連絡を取り、希望する研究内容について相談すること。ただし、事前相談ができなかった場合でも出願を妨げるものではない。
4. 入試日程Aおよび入試日程Bでの出願が可能である。入試日程Aに出願し合格した者は入試日程Bに出願することができない。
5. 試験科目は、英語及び修士論文等の発表を含む口述試験である
6. 企業・官公庁・団体等に在職している者で、博士後期課程学生募集要項に記載する要件を満たす者は、社会人等特別選抜の出願資格を持つ。希望する者は出願時に申告すること。なお、企業、官公庁、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、出願に際し「学業・職務両立計画書」を提出し、合格者は入学手続きの際に、在学期間中、学業に専念させる旨の「所属長の承諾書(様式任意)」を提出すること。
6. 受験者からの各教員への問い合わせは出願締切り前に限る。出願締切り後は、受験者からの問い合わせは、本専攻入試委員長に対する事務的内容に関する質問のみ認める。
7. 定年退職のため、以下の教員は学生を募集していない。
 - 山本 一夫 教授(医薬デザイン工学分野)
 - 藤原 晴彦 教授(遺伝システム革新学分野)
 - 青木 不学 教授(資源生物制御学分野)
 - 片岡 宏誌 教授(分子認識化学分野)

入学志願者案内 博士(一般入試および社会人等特別選抜)

入試日程 A

1. 英語

専攻では、今年度筆記による英語試験を実施しない。以下に示す成績証明書(スコアシート)のいずれか1つの提出を求める。

研究科募集要項に記載された TOEFL-PBT あるいは TOEFL-iBT (先端生命科学専攻では、TOEFL iBT Special Home Edition も受け入れる)のスコアシートの電子コピー(PDF ファイルを推奨)を、出願時または2021年7月25日(日)迄にアップロードして提出すること。別途、スコアシートの原本を研究科教務チームに郵送で提出すること。これらのスコアシートは、2019年9月1日以降に受験したものでなければならない。提出期限までに間に合わない場合は研究科教務チームに連絡すること。詳細については専攻のウェブサイト参照すること。

上記のいずれの方法でもスコアシートを提出できない場合でも、本入試の受験資格を必ずしも失うわけではないので、専攻入試委員長に電子メール等で連絡すること(詳しくは専攻ウェブサイトに記載している)。

なお、本学修士課程を修了または修了見込みの者は、英語の試験を省略する。また、アメリカ合衆国、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの大学または大学院の卒業(修了)者、卒業(修了)見込み者については英語の試験を免除する。

2. 修士論文等の発表を含む口述試験

修士論文(またはそれに代わるもの)の要旨(A4で2ページ)を事前に提出すること。修士論文(またはそれに代わるもの)を要旨に添えて提出してもよい。提出の期日、提出先等の詳細は、専攻入試委員長に事前に確認すること。また、口述試験の集合場所、日時ならびに発表形式の詳細も、専攻入試委員長に事前に確認すること。

3. 試験日程

口述試験の日程は2022年2月上旬を予定している。ただし入試日程Aの出願者のうち、社会人等特別選抜出願者と2021年10月入学を希望する出願者に対しては修士論文等の発表を含む口述試験を2021年8月中旬に実施する。

試験科目：修士論文等の発表を含む口述試験

試験日時：2022年2月上旬予定

試験場所：オンラインで実施する。

備考：オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で360度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って360度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。受験時には、受験票に加えて、筆談ができるように白紙のA4紙数枚、筆記用具を手元に準備しておくこと。試験時間・オンラインによる試験実施方法の詳細については2022年1月下旬までに電子メール等により通知する。

社会人等特別選抜出願者と2021年10月入学を希望する一般入試出願者の場合

試験科目：修士論文等の発表を含む口述試験

試験日時：2021年8月10日(火)～8月13日(金)

試験場所：オンラインで実施する。

備考：オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で360度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って360度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。受験時には、受験票に加えて、筆談ができるように白紙のA4紙数枚、筆記用具を手元に準備しておくこと。試験時間・オンラインによる試験実施方法の詳細については2021年7月30日(金)に電子メールにより通知する。

4. 合格内定者の発表

最終的な合格発表は研究科全専攻の入試終了後、研究科での審議を経て行われるが、本専攻ではすべての試験が終了し、専攻としての最終的な合否判定がなされた段階で、専攻としての内定を専攻ウェブサイトにて発表する。社会人等特別選抜出願者と2021年10月入学を希望する合格内定者は、2021年8月16日(月)の12時頃に、専攻ウェブサイトにて掲示して発表する予定である。

5. 検定料：30,000円

7. 10月入学

入学は原則として4月であるが、入試日程Aの合格者のうち、修士の学位を有する者及び2021年9月30日までに修了見込みの者で10月入学を希望する者には、2021年10月の入学を認めることがある。希望する者は出願時に申告すること。ただし、修了見込みの者が修了できなかった場合など、願書提出後の受験者の都合による入学時期の変更は認めない。

入学志願者案内 博士（外国人等特別選考）

- 外国人等特別選考への出願資格は、博士課程学生募集要項を参照すること。
- 志願者は、必要事項を記入した「調査票（博士）」（専攻ウェブサイトからダウンロードすること）の PDF ファイルを出願時にアップロードして提出すること。本専攻では、今年度は筆記による英語試験を実施しない。英語試験の成績証明書（スコアシート）の電子コピー（PDF ファイルを推奨）を、出願時または 2021 年 7 月 25 日（日）（入試日程 A の場合）迄にオンライン出願サイトにアップロードして提出すること。また、GPA が記載された出身大学の成績証明書の電子コピー（PDF ファイルを推奨）を出願時にアップロードして提出すること。別途スコアシートおよび成績証明書の原本を本研究科教務チームに郵送等で提出すること。
 - 志願者は、「外国人等特別選考を希望する」旨を出願時に申告すること。
 - 志願者は、必ず、志望研究分野をひとつのみ選んで出願時に申告すること。
- 外国人特別選考は、入試日程 A および入試日程 B での出願が可能である。入試日程 A に出願し合格した者は入試日程 B に出願することができない。
- 出願前に研究指導を志望する研究分野の教員に連絡を取り、希望する研究内容について相談すること。各教員への問い合わせは出願締切り前に限る。出願締切り後は、本専攻入試委員長に対する事務的内容に関する質問のみ認める。
- 入試説明会の日程等については本専攻ウェブサイトでも確認すること。
<http://www.ib.k.u-tokyo.ac.jp/entrance.html>
- 定年退職のため、以下の教員は学生を募集していない。
 - 山本 一夫 教授（医薬デザイン工学分野）
 - 藤原 晴彦 教授（遺伝システム革新学分野）
 - 青木 不学 教授（資源生物制御学分野）
 - 片岡 宏誌 教授（分子認識化学分野）

入学志願者案内 博士（外国人等特別選考）

入試日程 A

1. 英語

専攻では、今年度筆記による英語試験を実施しない。研究科募集要項に記載された TOEFL-PBT あるいは TOEFL-iBT（先端生命科学専攻では、TOEFL iBT Special Home Edition も受け入れる）のいずれかのスコアシートの電子コピー（PDF ファイルを推奨）を、出願時または 2021 年 7 月 25 日（日）迄にアップロードして提出すること。別途、スコアシートの原本を研究科教務チームに郵送で提出すること。これらのスコアシートは、2019 年 9 月 1 日以降に受験したものでなければならない。提出期限までに間に合わない場合は研究科教務チームに連絡すること。詳細については専攻のウェブサイト参照すること。

上記のいずれの方法でもスコアシートを提出できない場合でも、本入試の受験資格を必ずしも失うわけではないので、専攻入試委員長に電子メール等で連絡すること（詳しくは専攻ウェブサイトに記載している）。

外国人等特別選考において TOEFL 等のスコアシートを提出する場合は、スコアシートの点数が TOEFL-iBT 80 点以上または TOEFL-PBT 550 点以上相当でなければ、他の試験科目を受験することができない。TOEFL-iBT については Test Date スコアのみを有効とし、MyBest スコアは有効としない。

なお、アメリカ合衆国、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの大学または大学院の卒業（修了）者、卒業（修了）見込み者については英語の試験を免除する。

2. 修士論文等の発表を含む口述試験

修士論文（またはそれに代わるもの）の要旨（A4 で 2 ページ）を事前に提出すること。修士論文（またはそれに代わるもの）を要旨に添えて提出してもよい。提出の期日、提出先等の詳細は、専攻入試委員長に事前に確認すること。また、口述試験の集合場所、日時ならびに発表形式の詳細も、専攻入試委員長に事前に確認すること。

口述試験の日程は 2022 年 2 月上旬を予定している。ただし入試日程 A の出願者のうち、2021 年 10 月入学を希望する出願者に対しては修士論文等の発表を含む口述試験を 2021 年 8 月中旬に実施する。

3. 試験日程

試験科目：修士論文等の発表を含む口述試験

試験日時：2022 年 2 月上旬予定

試験場所：オンラインで実施する。

備考：オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で 360 度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って 360 度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。受験時には、受験票に加えて、筆談ができるように白紙の A4 紙数枚、筆記用具を手元に準備しておくこと。試験時間・オンラインによる試験実施方法の詳細については 2022 年 1 月下旬までに電子メール等により通知する。

2021 年 10 月入学を希望する出願者の場合

試験科目：修士論文等の発表を含む口述試験

試験日時：2021 年 8 月 10 日（火）～8 月 13 日（金）

試験場所：オンラインで実施する。

備考：オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で 360 度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って 360 度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。受験時には、受験票に加えて、筆談ができるように白紙の A4 紙数枚、筆記用具を手元に準備しておくこと。試験時間・オンラインによる試験実施方法の詳細については 2021 年 7 月 30 日（金）に電子メール等により通知する。

4. 合格内定者の発表

最終的な合格発表は研究科全専攻の入試終了後、研究科での審議を経て行われるが、本専攻ではすべての試験が終了し、専攻としての最終的な合否判定がなされた段階で、専攻としての内定を専攻ウェブサイトにて発表する予定である。社会人等特別選抜出願者と 2021 年 10 月入学を希望する合格内定者は、2021 年 8 月 16 日（月）の 12 時頃に、専攻ウェブサイトにて掲示して発表する予定である。

5. 検定料：30,000 円

6. 10 月入学

入学は原則として 4 月であるが、入試日程 A の合格者のうち、修士の学位を有する者及び 2021 年 9 月 30 日までに修了見込みの者で 10 月入学を希望する者には、2021 年 10 月の入学を認めることがある。希望する者は出願時に申告すること。ただし、修了見込みの者が修了できなかった場合など、願書提出後の受験者の都合による入学時期の変更は認めない。